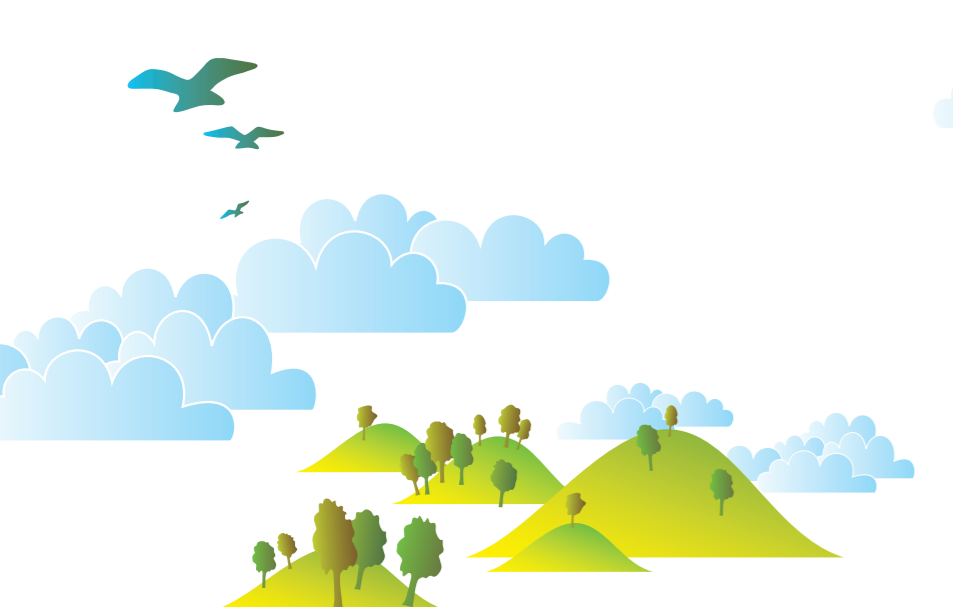
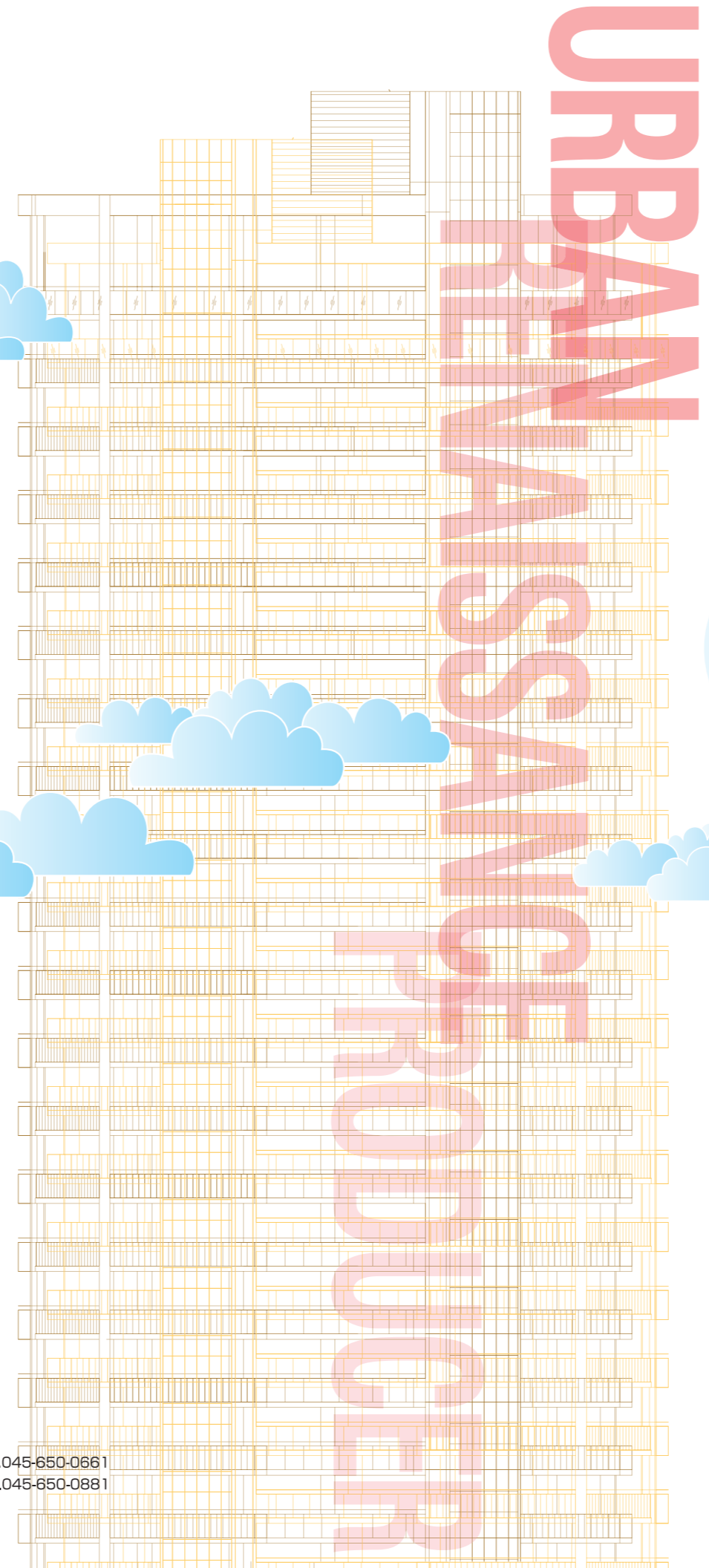


環境に配慮したまちづくり

人が輝く都市をめざして



独立行政法人 都市再生機構

www.ur-net.go.jp

本パンフレットの作成にあたって

都市機構では、暮らしや都市環境の環境負荷とアメニティの向上をめざし、さまざまな提案を行っています。その一環として、情報提供においても、人と自然、地球環境へのやさしいあり方を考えました。本冊子は、以下の点に配慮し作成しています。

古紙 100%使用

限りある資源を大切に使い続けたいという観点から、用紙の選定にこだわり、牛乳パック古紙 100%の再生紙を採用しています。市場に廃棄された牛乳パック

を回収し、再生過程を経て、新たに生まれ変わったエコロジーペーパーです。

大豆油インキ 100%使用

大豆油インキとは、地球環境・廃棄物・省資源・作業環境などに配慮し生まれた「環境対応型インキ」です。印刷用インキには、主に、顔料・樹脂のほかに、乾燥途中で揮発する揮発性有機化合物（VOC）を含む石油系溶剤が多量に含まれています。この石油系溶剤を大豆油におきかえたものが大豆油インキです。



本社 技術・コスト管理室 〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町六丁目50番地1横浜アイランドタワー15F TEL.045-650-0661
カスタマーコミュニケーション室 5F TEL.045-650-0881

平成16年7月1日、旧都市基盤整備公団と旧地域振興整備公団の地方都市開発整備部門が1つになりました。

街に、ルネッサンス





環境フレンドシップ宣言

環境負荷の低減とアメニティの向上をめざして、
都市機構は、暮らしや都市環境へのさまざまな提案を行っています。



都市機構は、人と自然そして
地球環境にやさしいまちと住まいの
実現をめざしています。



1 都市の自然環境の 保全・再生

1 都市の自然環境の 保全・再生

地域の特徴(微気候、地形や土壌、水、緑や生きものなど)を大切な計画要素として、まちや住まいのなかでその保全や再生に積極的に取り組んでいます。住まい手と自然がふれあう緑豊かな生活の場は、ヒートアイランド現象など都市特有の環境問題の改善にもつながっていきます。

2 まちや住まいの 省エネルギー

2 まちや住まいの 省エネルギー

まちや住まいのライフサイクル(建設・居住・改修・解体)を通じた省エネルギーをめざしています。特にエネルギー消費の増大が課題となっている暮らしの場面について、断熱性能の充実や、自然エネルギーの有効活用、効率の高い設備等の導入など、省エネルギーを進めるさまざまな試みに取り組んでいます。

3 資源の有効利用と 廃棄物の削減

3 資源の有効利用と 廃棄物の削減

まちや住まいのライフサイクル(建設・居住・改修・解体)を通じた資源の有効利用と廃棄物の削減に取り組んでいます。長期耐用型住宅の建設、適正な維持管理や住宅ストックのリニューアルなどによって、建築物の長寿命化を図るとともに、建て替えを行う場合にも、発生する解体材をリサイクル等によって有効に活用しています。

4 住まいの 健康・快適性

4 住まいの 健康・快適性

人体に安全な建材や環境に配慮した工法の採用など、安心して快適な室内環境を実現するためのさまざまな取り組みを行い、居住空間の総合的な健康性・快適性の向上を図っています。

5 環境時代の ライフスタイル

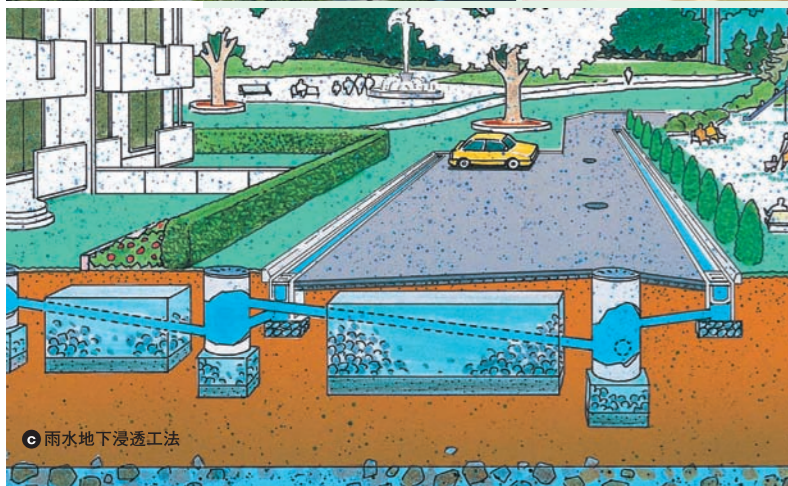
5 環境時代の ライフスタイル

まちや住まいの良好な環境を育成する主人公である住まい手が、地域の人々とともに自然環境とのふれあいを楽しみながら、地球環境や地域の自然にやさしい暮らしを培い、継承していけるよう、場としくみづくりを支援しています。

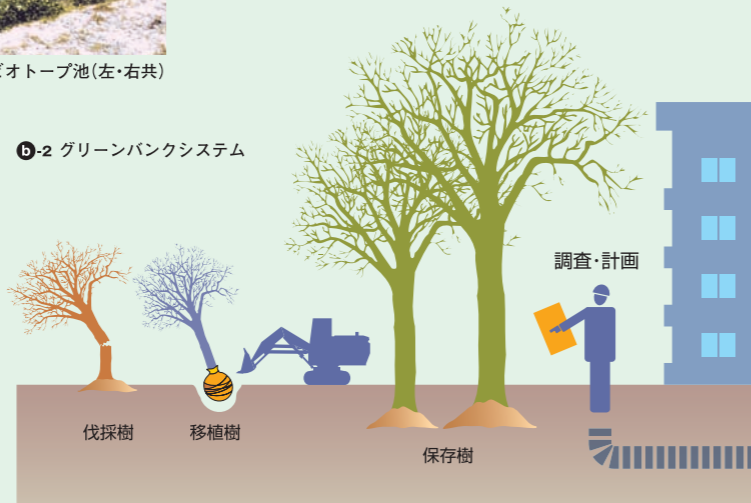


環境に配慮した 都市機構の取り組み

【凡例】 **A** 重点的に取り組んでいます
B モデル的に取り組んでいます
C 研究・開発に取り組んでいます



ビオトープ池(左・右共)



都市の自然環境の
保全・再生に取り組みます

自然環境の 保全・再生

建物を緑化して緑を増やす

A 屋上緑化 **写真①**
 良好な景観の形成やヒートアイランド現象の緩和などに寄与します。都市機構では約30年前から取り組みはじめ、現在は、既成市街地を中心に住棟の屋上緑化を実施しています。
 [グリーンプラザびばりが丘南/2001年]

既存の樹木を大切に活かす

A グリーンバンクシステム **写真①-1, 図②-2**
 建替団地などの既存樹木について保全・移植・伐採木のリサイクルを計画的に行うシステムです。緑の資産を有効に活かし、廃棄ゼロをめざしています。

雨水を土にかえして巡らせる

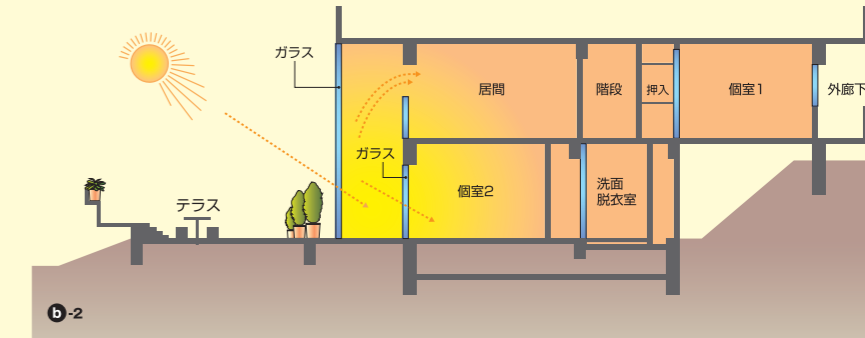
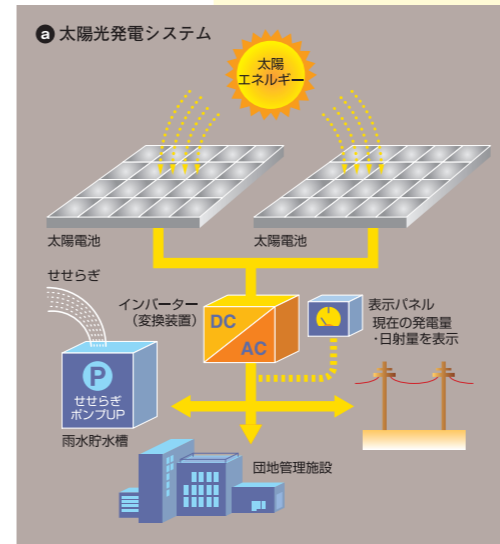
A 雨水地下浸透工法 **図③**
 雨水を地表又は地表近くの土中に分散・浸透させる工法で、地区外への雨水流出を最小限に抑えたと共に、地下水の保全に努めています。
 [昭島つつじが丘ハイツ/1981年]

様々な生きものと共に暮らす

B ビオトープ **写真①-1, ②-2**
 地域に住む身近な生きものが生育できる環境を、公園のビオトープ池や集会所の屋上ビオトープなどとして整備しています。地域の生物多様性の保全にも貢献します。
 [高槻・阿武山/1992年]

省エネルギー

まちや住まいの省エネルギーを推進します



パッシブソーラー住宅(上・下共)

冷暖房負荷を低減する

A 省エネルギーに配慮した住まい
 断熱性能の確保とともに、日射の有効な取得と遮蔽に配慮し、暮らしの省エネルギーに寄与する住まいを実現します。

太陽エネルギーを活用する

B 太陽光発電システム **図④**
 集会所や住宅の共用部分の電力として活用します。また系統連系によって、余った電力は電力会社へ売電します。
 [アルビス旭ヶ丘/1997年]

B パッシブソーラーシステム **写真①-1, 図②-2**
 太陽エネルギーを、機械設備に依存せず、様々な建築的工夫によって有効に活用します。日射を積極的に室内に取り込み、躯体に蓄えられた熱を夜間放出することで、冬期の暖房エネルギーを削減します。
 [長峰社の三番街/1996年]

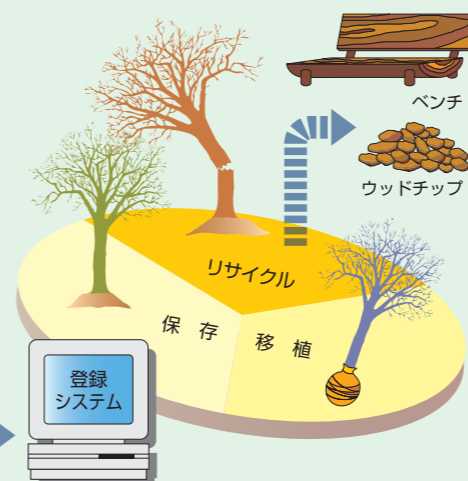
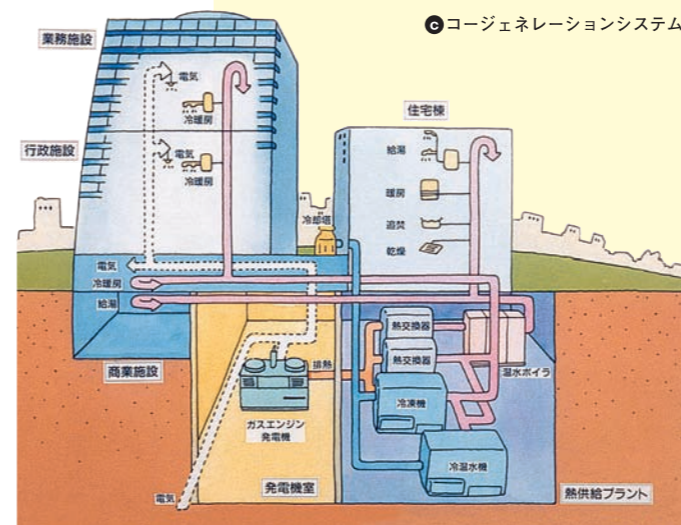
効率のよいエネルギー供給を行う

B コージェネレーションシステム **図⑤**
 発電と熱供給を同時に行うシステムで、発電時に発生する排熱を回収して、給湯や暖房に使用します。
 [パレー川崎/1990年]

C 燃料電池
 都市ガスから作った水素を用いて発電すると共に、排熱を回収し、給湯や暖房に利用します。発電効率が高く、NOx等の発生も少ないもので、現在実用化に向けて研究が進められています。

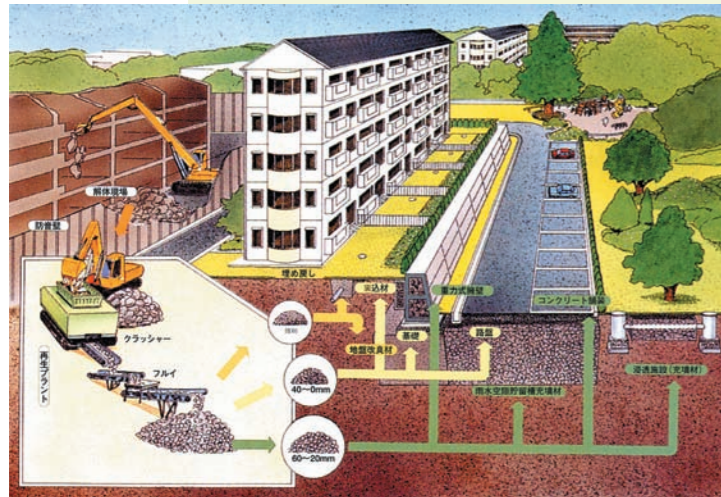
風力を活用する

C 風力発電
 有力な自然エネルギーの1つである風力を活用した発電設備の導入を検討しています。

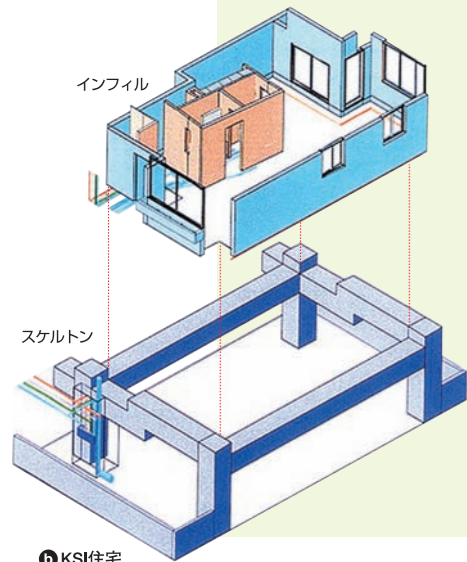


資源・廃棄物

資源の有効利用と廃棄物の削減を目指します



図a コンクリート塊団地内リサイクルシステム



図b KSI住宅



図c-1 図c-2
既存住宅ストックのリニューアル

リサイクルを実践する

図a 建物解体工事における分別解体・回収
建物の解体で生じる内装材の廃材を、畳や板ガラスなど9品目に分別解体・回収します。これにより、従来最終処分されていた混合廃棄物のうち、約70%の再資源化が実現しました。
[三鷹台団地/2001年]

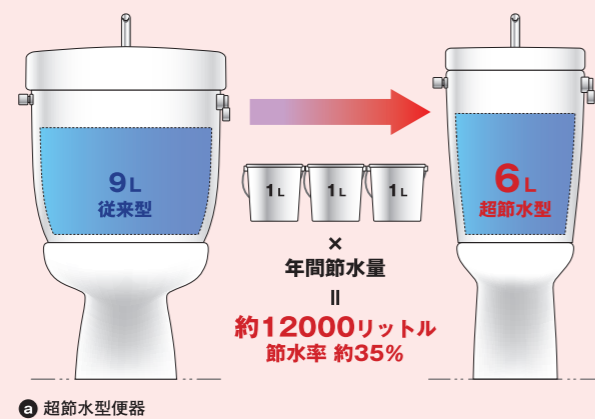
図b コンクリート塊団地内リサイクルシステム
建物の解体に伴い発生したコンクリート塊を現地で再生し、道路路盤材等に利用します。現在都市機構では、「建設リサイクル法」で再資源化が義務付けられたコンクリート、アスファルトコンクリート、木材については、ほぼ100%のリサイクルを達成しています。
[相模大野団地/1993年]

図c 発泡三層管(塩ビ再生製品)
都市機構では、「塩化ビニル・継手協会」との協同研究を通じて、多様な塩化ビニルのリサイクルを可能とする発泡三層管の実用化を果たしました。現在、排水管として積極的に利用しています。

長寿命化を図る

図d KSI住宅
KSI住宅は、集合住宅の骨組みといえる躯体や共用設備(スケルトン)と、住宅専用の内装や設備(インフィル)とを明確に分離するとともに、躯体の耐久性を高めた住宅です。古くなった内装や設備の更新が容易であり、必要な部分の改修を行いながら、建物を長く使い続けることができます。
[アクティ三軒茶屋/2002年]

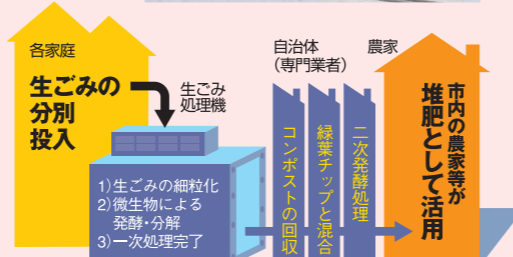
図e 既存住宅ストックのリニューアル
昭和40年代～50年代前半に完成した住宅を対象として、内装や設備を現在のニーズに合わせてリニューアルし、有効活用を図っています。さらに、より総合的な改修・再生についても研究を進めています。



図a 超節水型便器



図b-1



図b-2 コンポスト活用のしくみ

健康快適性

住まいの健康・快適性を高めます



図a 人体と環境に配慮した建材



図b 常時小風量換気システム

室内空気環境に配慮する

図a 人体と環境に配慮した建材
室内の空気環境に配慮し、ホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物の放散量が少ない建材を使用しています。

写真a

図b 常時小風量換気システム
住宅の高気密化による自然換気量不足を補うためのシステムです。新鮮空気は、各居室の専用給気口から取り入れ、居室を經由してサンタリーゾーンから排気されます。結露やカビを抑制する効果も期待できます。
[シーリアお台場/1996年]

室内を快適にする

図a 通風・換気への配慮
室内に通風が得られることは、室内空気質の改善に役立つだけでなく、なるべく冷房に頼らない生活にもつながります。できるだけ自然な通風経路を確保するように計画しています。

図a 結露の防止
住宅の断熱性能を高めるとともに、結露の発生しやすい北側居室や押入内などの壁際の天井に断熱材を施し、結露の防止に努めています。

廃棄時の環境汚染を防止する

図a エコマテリアルケーブル
鉛やハロゲンを含まないため、燃焼時に有害なダイオキシン等が発生しないエコマテリアルケーブル(EM電線・ケーブル)を採用しています。

環境時代のライフスタイルを支援します

ライフスタイル

環境に配慮した暮らしを支援する

図a 超節水型便器
都市機構では、大便器の洗浄水量を、昭和60年に12Lから9Lに減らし、更に平成11年度には6Lまでの節水を実現しました。

図a

図a ピークアラーム機能付分電盤
電気の使用状態をレベル表示すると共に、音声警報により電気の使いすぎをお知らせします。

図b-1 図b-2 コンポスト型生ゴミ処理機
生ゴミを堆肥化するシステムです。各自治体との協力関係の中で、取り組んでいます。
[サンヴァリエ工塚堤/1999年]

住民参加のまちづくりを支援する

図b 住まい手が育む花と緑のまち
家庭菜園を楽しめるクラインガルテンなど、住まい手自らが土と触れ合い、屋外空間の演出に参加できる「場」と「しくみ」づくりを行っています。
[レーベンスガルテン長池/1997年]

図a 緑のワークショップ

写真a

既存樹木に恵まれた建替団地では、住まい手や地域の方々への要望や想いを活かして緑を継承するために、「緑のワークショップ」を開いています。
[多摩平の森/1998年]

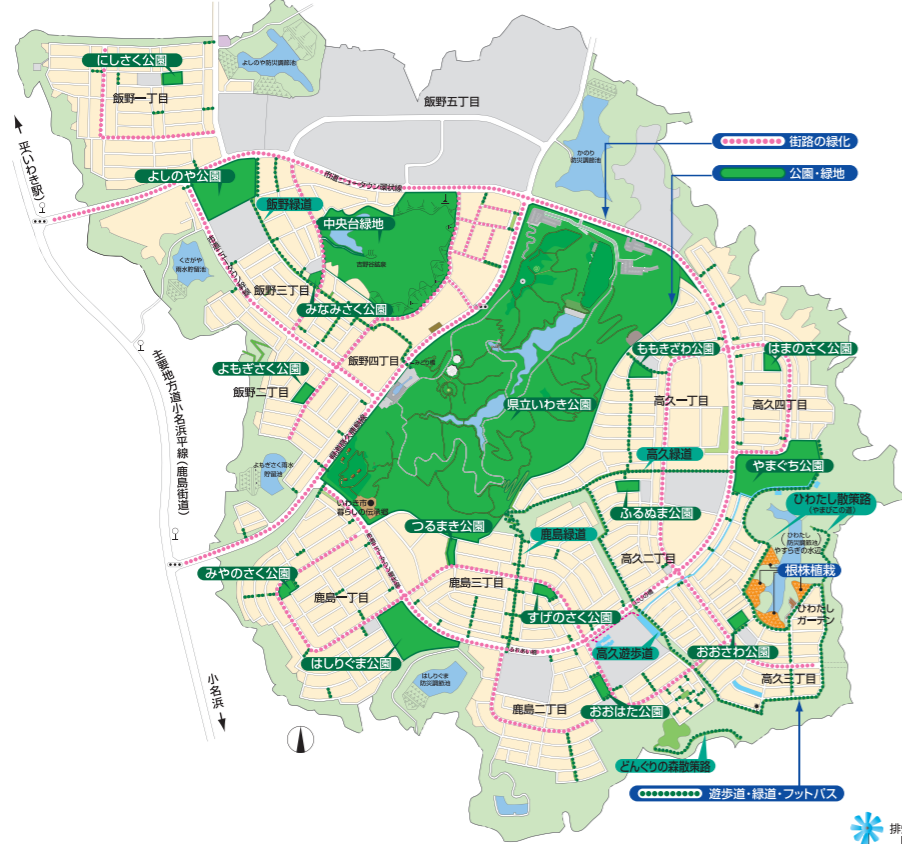
図b 緑のワークショップ



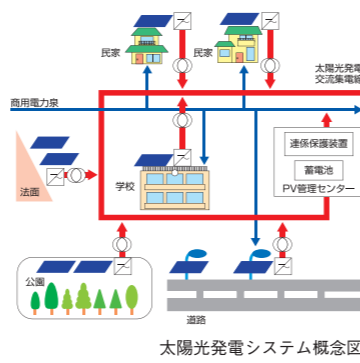


人と自然が調和するまち いわきニュータウン

福島県いわき市



上) 県立いわき公園における緑化
下) 太陽光発電システム



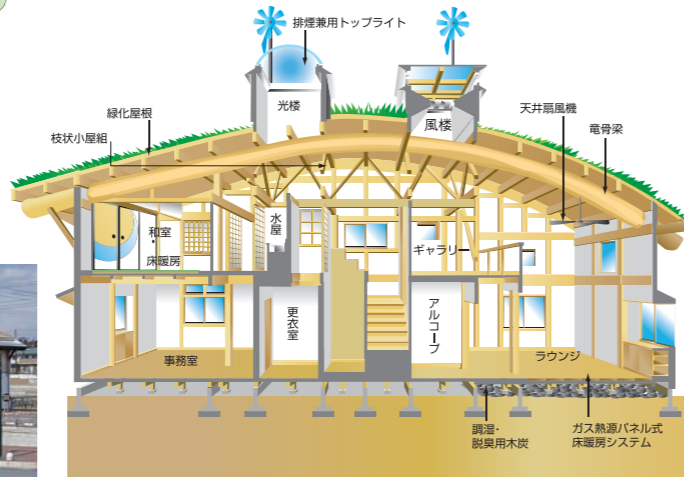
太陽光発電システム概念図



ひわたしガーデン
コンポスト



いわき風舎村 外観



いわき風舎村
(環境共生型住宅分譲展示場)

いわきニュータウンは、「人と自然との調和」をテーマに、恵まれた自然環境のもと、充実した都市機能を整備し、いわき市のシンボルゾーンとしての都市づくりを行っています。いわき市は1年を通じて温暖で暮らしやすい気候をもったまちで、降雪量も少なく、日照時間の長さから「サンシャインいわき」と呼ばれています。この自然の恵みを活かして、太陽光発電等の「自然エネルギーの活用」、自然緑地の保全、散策路・観察路の整備、幼苗植栽等の「緑化の推進」、様々な環境共生技術を取り入れた環境共生型住宅分譲展示場住宅等の「環境共生型住宅の整備」、区画道路等における排水性舗装、貸し農園や中学校における雨水循環システム、廃棄物リサイクルシステムの導入等の「リサイクルシステムの構築」等により環境共生型のモデル都市実現に向けて積極的な取り組みを展開し、人と自然にやさしいまちづくりを推進しています。

DATA

- 所在地: 福島県いわき市中央台飯野、鹿島、高久
- 事業期間: 昭和50年度～
- 地区面積: 約530ha
- 計画人口: 約25,000人

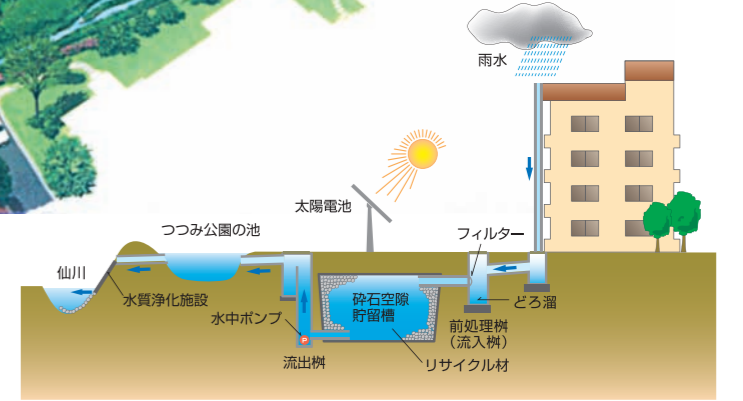


水辺空間の再生 サンヴァリエ桜堤

東京都武蔵野市



石積みや乱杭、植栽でつくられた護岸



仙川水辺公園の池や仙川の補給水に雨水を利用。建物に降った雨を地下の貯留槽に貯め、太陽エネルギーを動力源としたポンプで汲み上げて水源としている。



建替前の樹木を残した緑豊かな屋外空間



地下に貯留された雨水の利用

サンヴァリエ桜堤は、完成から約40年を経過した桜堤団地の建替によって生まれました。桜並木をはじめ大きく成長した樹木や、敷地内を横断する仙川など、恵まれた環境資産を活かすため、緑の継承、地域との融和、環境への配慮、いきいきとした生活空間づくりの4つを計画の基本方針としています。コンクリート三面張りでもともとない状態であった仙川は、自然の川をお手本に、自然石や木杭を配置して深さを変化させることで、多様な生きものの生活環境として生まれ変わり、人々の集う親水空間となりました。また、武蔵野市と協力して、団地内で発生する生ゴミのコンポスト化に取り組んでおり、コンポストは市によって回収された後、農家で有機肥料として活用されています。

DATA

- 所在地: 東京都武蔵野市桜堤1丁目
- 管理開始: 1999年10月
- 用途: 共同住宅601戸※
- 構造: 鉄筋コンクリート造、3～10階建、18棟※
- 敷地面積: 約44,000㎡※

(※: 第1ブロック)



ビオトープネットワーク グリーンプラザひばりが丘南

東京都西東京市



鳥や昆虫とふれあえる
屋上ビオトープ



専用庭のあるメゾネット住宅



せせらぎの水は、
地下に貯留した雨水を太陽エネルギーによって汲み上げて
循環させている

共用灯などの電源や集会所のクールチューブシ
ステム(冷房負荷を低減するシステム)に太陽エ
ネルギーを活用



非塩ビ壁紙を使用

グリーンプラザひばりが丘南は、明治薬科大学田無分校の跡地であり、大学から樹形のみことな大木を数多く受け継ぎました。また周辺には、東京大学田無演習林をはじめ、豊かな緑が点在します。この環境資源を活かして、地域の緑とネットワークを形成する1つの核となることを目指しました。敷地内の大木は、そのまま残したりシンボルツリーとして広場に移植したりし、さらに中層住棟の屋上緑化や、雨水を利用したせせらぎの広場、集会所屋上のビオトープなどによって水と緑を積極的に取り入れて、隣接する市民公園の原っぱやビオトープと連携する豊かな住環境を形成しています。市民公園は、西東京市と協力して計画したもので、市民懇談会などを通じ、市民の意見が公園の整備内容に反映されています。

DATA

- 所在地: 東京都西東京市谷戸1丁目
- 管理開始: 2001年3月
- 用途: 共同住宅495戸
- 構造: 鉄筋コンクリート造、3~14階、4棟
- 敷地面積: 約23,000㎡



パッシブソーラー住宅 長峰杜の一番街~五番街

東京都稲城市



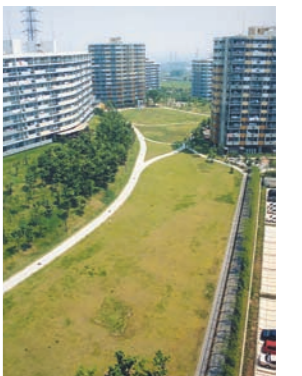
地下の貯留槽に蓄えた雨水を
手押しポンプで汲み上げて
散水に利用



間伐材を利用したウッドデッキ(杜の二番街)



通風・採光に優れたフラットビーム構造(杜の四番街)



広大な芝生の広場を囲む住棟配置

長峰杜の一番街~五番街は、多摩ニュータウンの東端にあり、緑の多いニュータウンのなかでも特に緑が豊富な地域に位置しています。稲城地区の広域計画である「緑の輪」との連携を図り、高層住宅中心の計画として緑被率を高め、中央には広大な芝生の広場を設けました。また、ここでは、公団において技術開発・利用されてきた環境共生の技術要素を総合的に導入しています。雨水地下浸透工法、コンクリート再生砕石利用、屋上緑化(集会所)、パッシブ/アクティブソーラー住宅等に加え、採光通風に有利な高窓を可能にしたフラットビーム構造の中層住宅、建替団地の樹木の活用など、公団で初めての試みとなったものも採り入れられています。

DATA

- 所在地: 東京都稲城市長峰3丁目
- 管理開始: 1995年3月
- 用途: 共同住宅944戸※
- 構造: 鉄筋コンクリート造、5~14階建、19棟※(※都市機構住宅)
- 敷地面積: 約116,000㎡(都営住宅含む)

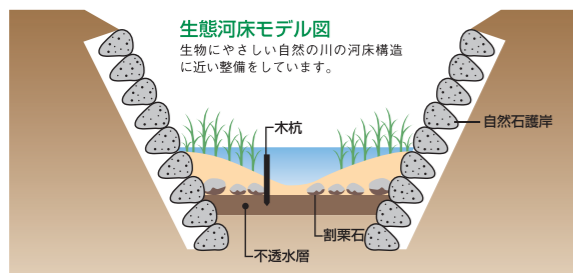
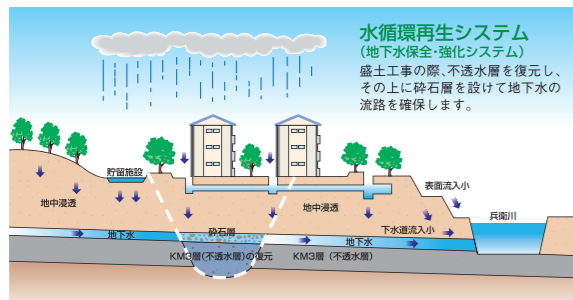


五山五丘三溪一流 八王子みなみ野シティ

東京都八王子市



水系の維持・再生



棚田水田、段々畑など従来の谷戸景観を積極的に復元した栃谷戸公園。八王子市の公園里親制度により市民管理が行われている
自然の恵みを楽しむ「みなみ野自然塾」の活動

多摩丘陵に位置する八王子みなみ野シティでは、「五山五丘三溪一流」構想として、地区固有の優れた自然環境の持ち味を活かしたまちづくりを行っています。地域を流れる兵衛川の環境を守るため、水循環再生システムにより河川水量の復元や降雨時の雨水流出抑制を図ったり、護岸や河床に、蛙などの水生生物が生息できる工夫を施したりしています。また、この地に伝わってきた里山の知恵や技術を学びながら、自然の恵みを楽しむ活動「みなみ野自然塾」が、地域の人々の手によって行われ、自然を介した交流を通じてみなみ野ならではの暮らしのかたちが培われています。これらハードとソフト両面での環境共生への取組みは、「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」(H14 都市機構・みなみ野自然塾共同受賞)など高い評価をいただいています。

DATA

- 所在地: 東京都八王子市みなみ野 他
- 事業期間: 昭和63年10月～
- 地区面積: 394ha
- 計画人口: 約 28,000人



みんなで作る環境共生のまち 船橋美し学園 芽吹の杜

千葉県船橋市



写真上)保存緑地での環境学習。地元の小学生達が自然に触れ、学ぶ場となっている。
写真左)船橋日大前駅(東葉高速鉄道)東口駅舎。素材はレンガ・木材等を利用。駅前広場の植栽には現況樹木を移植。駅前広場の舗装には焼却灰再生ブロックを使用。

船橋美し学園 芽吹の杜では、「エコ・ライフを積極的にサポートするまち」「環境技術を積極的に取り入れるまち」「自然とのふれあいを感じられるまち」の3つのテーマを掲げ、環境共生に配慮したまちづくりを目指しています。「水と緑の環境軸の形成」として、調整池をピオトープ化する近隣公園を中心とした「水の拠点」、現況樹林を残した保存緑地を中心とした「緑の拠点」、それらの2つの拠点を旧坪井川の流れを再生したせせらぎ歩道で結んだ「環境軸」を整備しています。保存緑地では地域のボランティアによる保全管理を行っています。また、自然素材を多用したシンボリックな駅舎や、ソーラー発電を取り入れた住宅など、行政、住宅メーカー、NPO等の協力を得て、まち全体で環境共生に取り組み、ひとりひとりが守り育てるまちを目指しています。

DATA

- 所在地: 千葉県船橋市坪井町 他
- 事業期間: 平成9年2月～
- 地区面積: 65.4ha
- 計画人口: 約7,200人



クラインガルテン レーベンスガルテン山崎

神奈川県鎌倉市



低床花壇による雨水貯留



生きものが生息しやすいような多孔質な空間をつくり出す石積み



生きものの生息環境を意識した植生ジャコ



野菜の育つクラインガルテン

レーベンスガルテン山崎は、鎌倉市北部の丘陵地と大船市街地の平地との境界部に位置し、住宅、農地、樹林などが混在する良好な自然環境の残された谷戸地形にあります。住環境と自然環境が調和し、人間と生きものが共生する環境共生住宅をテーマとして、山崎団地の建替に隣接する工場跡地も取り込んで、総合的なまちづくりを行ってきました。雨水と井戸水を利用した池など、生きものが生息しやすい環境を形成したり、周辺地域の鳥や昆虫を呼び込めるよう樹種を選定したりして、敷地内に自然環境を復元し、周辺の自然と一体となって生態系の回復を図ることを目指しています。また、敷地内に設けたクラインガルテン（小菜園）は、住まい手が自ら土に触れて自然に親しみ、コミュニティを育む場となっています。

DATA

- 所在地: 神奈川県鎌倉市山崎
- 管理開始: 2000年7月
- 用途: 共同住宅440戸
- 構造: 鉄筋コンクリート造、7棟(予定)
- 敷地面積: 約 33,000㎡



資源循環 さいたま新都心

埼玉県さいたま市



せせらぎの吐水口

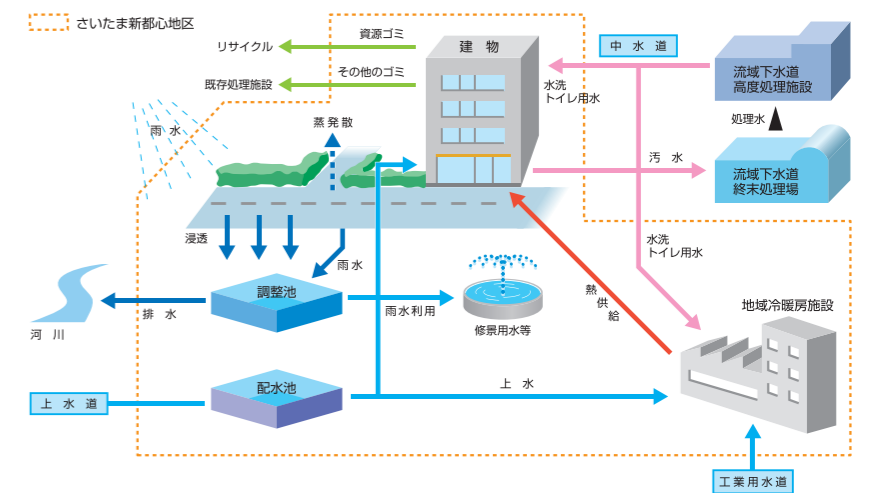


雨水調整池の貯留水を利用したせせらぎ(せせらぎ通り)



「空の森」をテーマにした人工地盤上のけやきひろば

資源循環システム計画



さいたま新都心は、さいたま業務核都市のシンボルコアとして位置付けられ、公団の都市機能更新型土地区画整理事業によって、都市基盤の整備が進められました。ここでは、「人と環境にやさしい都市」を目指し、建物の事業者と協力して都市全体の資源循環システムに取り組んでいます。水資源については、雨水が浸透する道路舗装の採用により地下水の涵養を図るほか、流出抑制のため調整池に一時貯留された雨水を利用して、都市空間を潤すせせらぎを設けたり、人工地盤上を緑化することで水の蒸発散を促進したりしています。また、今後、下水道の処理水を再利用する中水道を導入することも計画されています。

DATA

- 所在地: 埼玉県さいたま市中央区新都心 他
- 事業期間: 平成3年4月～
- 地区面積: 47.4ha
- 計画人口: 約 57,000人



ルーフテラスの緑化 コーポレート清瀬駅南

埼玉県新座市



6階の共用廊下に面した屋上庭園には緑があふれる



せせらぎ上流の吐水口は花の中から水が飛び出す形で、子どもたちに人気



6階に設けられた芝生の専用庭(ルーフテラス)は広々として開放的な空間



つる植物で壁面緑化した自転車置場は地域の景観形成にも貢献



コーポレート清瀬駅南は、「野火止用水」に隣接し、点在する農家の屋敷林や畑などが武蔵野のイメージを色濃く残す地域にあります。この緑豊かな立地にふさわしい住環境を目指し、緑化、樹木のリサイクル、太陽とせせらぎをテーマに環境共生に取り組んでいます。最上階では、共用廊下に面する低木等の屋上庭園と、専用庭となる芝生のルーフテラスという2種類の屋上緑化を行い、また自転車置場やゴミ置場は壁面緑化、道路際の擁壁にも植栽を施して、緑あふれる街並みを形成しています。敷地内の既存樹木はそのまま活かしたり移植したりして活用し、移植できない樹木もチップ化して公園路等に利用しました。屋根に降った雨は一旦地下の貯留槽に蓄え、太陽光発電システムによる電力によってポンプアップして、敷地内を流れるせせらぎとなっています。

DATA

- 所在地: 埼玉県新座市新堀3丁目
- 管理開始: 1996年12月
- 用途: 共同住宅186戸
- 構造: 鉄筋コンクリート造、6~7階建、4棟
- 敷地面積: 約 9,500㎡



花物語 アーバニア志賀公園

名古屋市北区



共同花壇での苗づくり



住まい手による花の植え付け作業



住棟屋上に設置された太陽電池パネル

アーバニア志賀公園では、「花物語」計画として、住まい手が、自ら育てた四季の草花をプロムナードや広場等に植え付け、土や身近な生きもののふれあいを体験しながら、彩りと潤い豊かな屋外空間を演出しています。「花物語」計画は、1998年2月から活動を開始し、住民組織の「はなともくらぶ」としてその活動が維持されてきました。名古屋市との間に「緑と花の協定」も締結され、コミュニティの輪は年々大きくなっています。この他、屋上緑化、雨水の貯留とせせらぎなどへの利用、太陽光発電システムによる電力の集会所への利用、建替団地と連携した樹木の移植（グリーンバンクシステム）やコンクリート再生砕石の路盤への活用など、環境に配慮した様々な取り組みを行っています。

DATA

- 所在地: 愛知県名古屋市北区中丸2丁目
- 管理開始: 1997年8月
- 用途: 共同住宅712戸
- 構造: 鉄筋コンクリート造、4~11階建、12棟
- 敷地面積: 約 38,000㎡



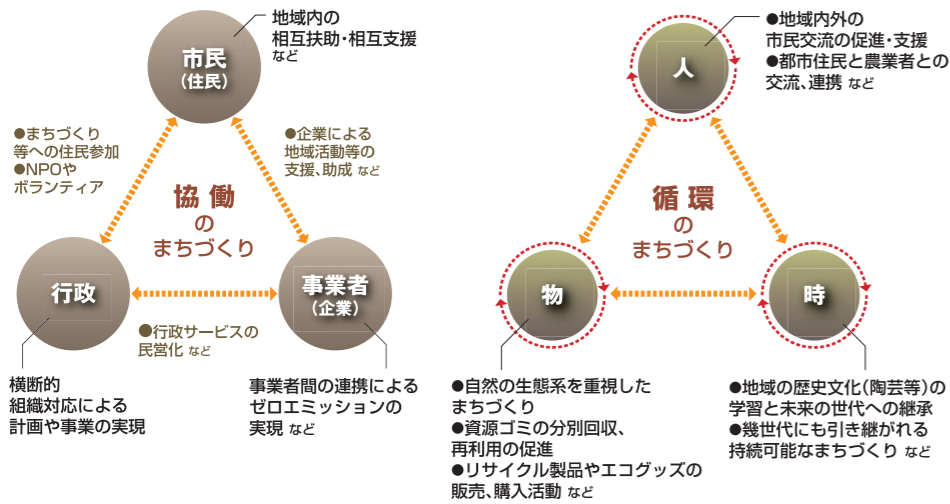
協働・循環のまちづくり みずの坂・やまて坂

愛知県瀬戸市



上) かもが池公園では、どんぐり植樹などさまざまな活動が継続的に行われている
下) ワークショップでは模型をつくりながら議論

「東山エコ」のワークショップをもとに計画された「かもが池公園」



「花さか倶楽部」の花壇づくり活動

瀬戸市西部の丘陵地に位置するみずの坂・やまて坂では、持続可能な地域社会の形成を目標として、「協働・循環のまちづくり」をテーマに掲げ、住まい手参加のまちづくりに取り組んでいます。行政、事業者、住まい手が、適切な役割分担のもとで、住まい手の相互支援や交流を促進しコミュニティの形成を図る「協働」と、環境負荷の低減に向けた省エネ・リサイクルの推進、人々の出会いや交流、地域の歴史や文化の継承といった、物、人、時の「循環」をキーワードとし、「東山エコ」や「花さか倶楽部」などの市民グループの提案によって、ワークショップによる公園計画や花壇づくりなどさまざまなプログラムが実施されています。

DATA

- みずの坂**
- 所在地: 愛知県瀬戸市本郷町 他
 - 事業期間: 平成2年10月～
 - 地区面積: 68.0ha
 - 計画人口: 約 6,700人
- やまて坂**
- 所在地: 愛知県瀬戸市やまて坂 他
 - 事業期間: 平成8年6月～
 - 地区面積: 27.7ha
 - 計画人口: 約 3,000人



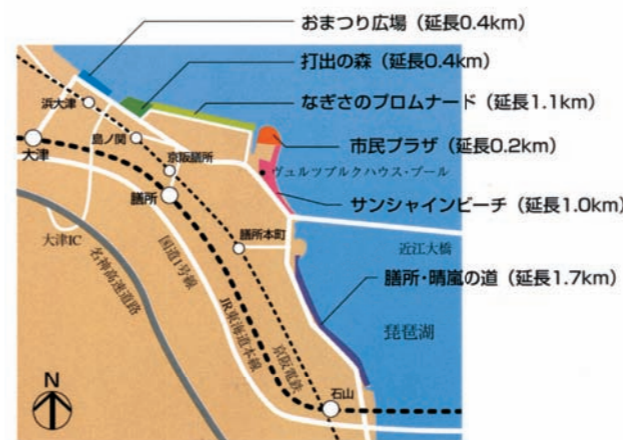
多彩な湖岸風景 大津湖岸なぎさ公園

滋賀県大津市

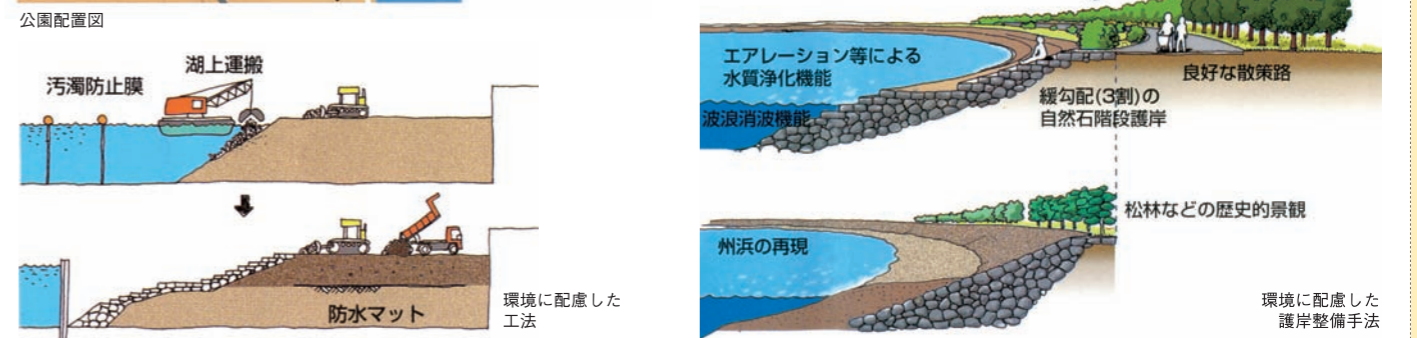


市民プラザ

自然石階段護岸



左・右) なぎさのプロムナード



大津湖岸なぎさ公園は、琵琶湖の西端にあり、大津市が理想の都市像として掲げる「水辺交歓都市構想」を背景に、平成11年度に完成した、広さ30.3haを誇る親水公園です。整備の進め方によっては、環境や市民生活への影響を最小限に抑えるため、造成用土砂を湖上運搬したほか、濁色防止膜・防水マットを設置して施工するなどの創意工夫を施しています。こうした努力が実を結び、本来の自然湖岸が持っていた「水質浄化機能の確保」や「生物の生息環境の確保」を実現することができました。また、延長約4.8kmに及ぶ湖岸線において、多彩な湖岸風景を創出するなど、景観にも十分に配慮した公園となっており、平成7年度に都市景観大賞において「建設大臣賞」を受賞しています。水辺とのふれあいのための豊富な施設を完備した大津湖岸なぎさ公園は、市民の活動の場として、また湖上観光の拠点として、多くの方に広く利用されています。

DATA

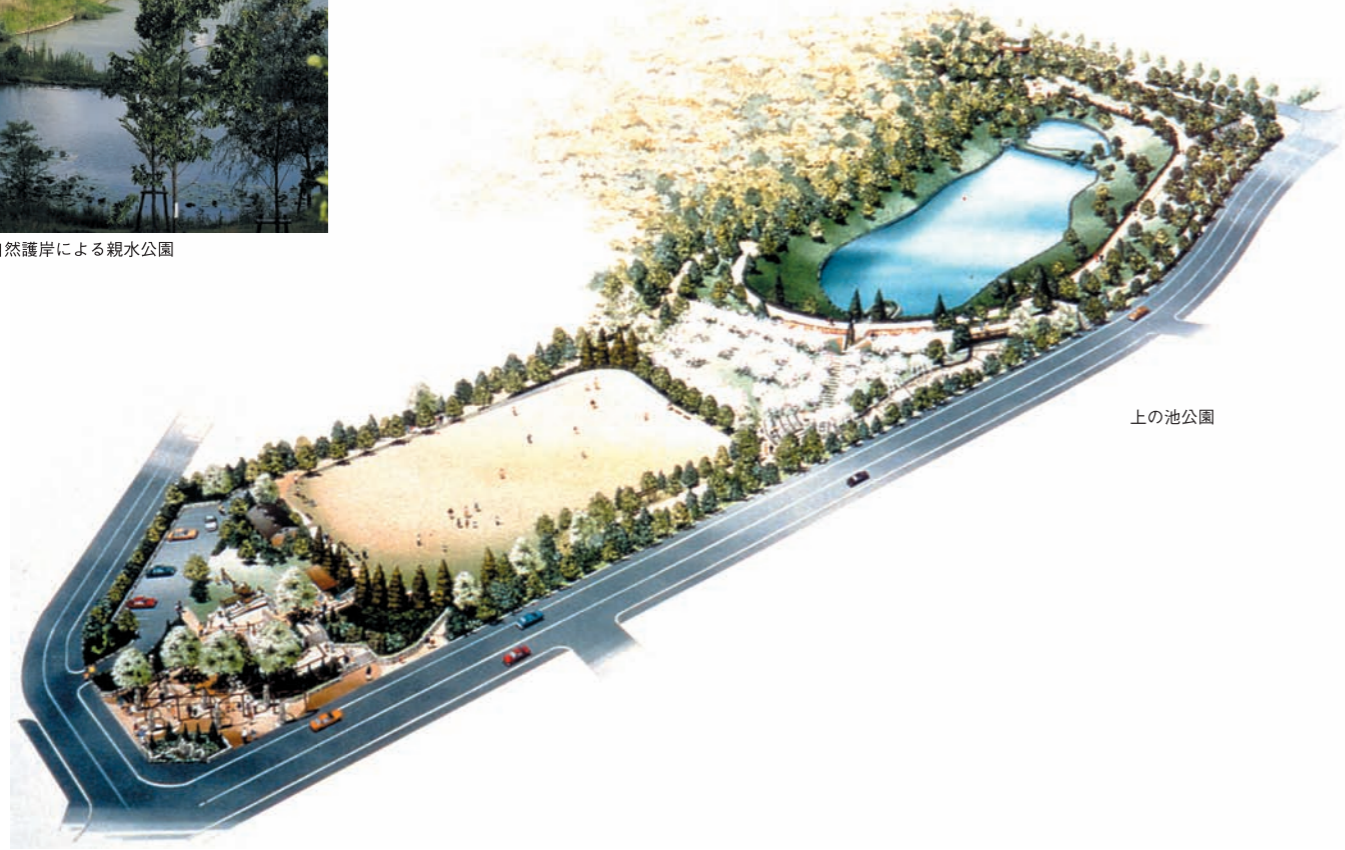
- 所在地: 滋賀県大津市晴嵐、みおの浜
- 事業期間: 昭和62年度～平成11年度
- 公園面積: 30.3ha
- 主要施設: おまつり広場、打出の森、なぎさのプロムナード、市民プラザ、サンシャインビーチ、膳所、晴嵐の道



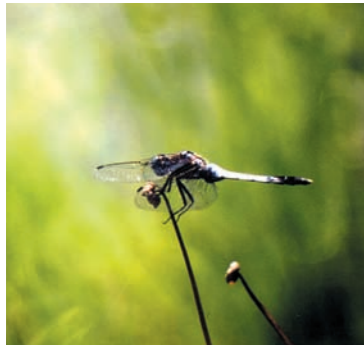
ビオトープ「トンボ池」 高槻・阿武山 大阪府高槻市



自然護岸による親水公園



上の池公園



やってきたトンボは20種類



トンボやザリガニを採りにくる子どもたち



継続しているモニタリング調査

高槻・阿武山団地は、周囲を自然林に囲まれた緑豊かな丘陵地にあります。団地のほぼ中央には、水と緑の核となる約2.7haの「上の池公園」があり、地区の雨水流出抑制のための調整池を活かし、隣接する既存林と一体で生態復元をめざす試みとして、ビオトープ池が整備されています。ここでは、生きものたちの受け皿を用意して自然の力による復元に委ねており、トンボをはじめいろいろな生きものが戻ってきて、子どもたちが身近に自然とふれあえる場所となっています。完成後、モニタリング調査を実施し、改良を加えながらビオトープの育成を図ってきました。現在も、生きものの定着状態について調査を続けています。

DATA

- 所在地: 大阪府高槻市奈佐原1丁目、2丁目、上土室3丁目
- 管理開始: 1992年4月(上の池公園)
- 用途: 共同住宅、戸建住宅、公共施設他
- 敷地面積: 約53ha(団地全体)



水辺空間の演出 北摂三田ウッディタウン 兵庫県三田市



親水公園の桜の下で休日を過ごす人々



平成15年10月撮影



平谷川修景計画



自然と調和した平谷川の親水空間



古墳や芝生広場で遊べる中央公園

神戸三田国際公園都市の中心的存在となる北摂三田ウッディタウンは、もともとこの地にあった古墳や、大きな池、樹林地などを活かして多彩な公園が生まれ、自然とのふれあいに満ちたまちとなっています。地区を横断して流れる平谷川には、水に親しめる7つの広場とそれらをつなぐ「水辺の道」が、四季折々の木々を楽しめるやすらぎのある水辺空間として整備されています。また、湯水期にも川にせせらぎが絶えないように水量を確保するとともに、集中降雨時に雨水が急激に川に流れ込まないようにするため、学校のグラウンドや公園の地下を利用した雨水貯留システムを導入しています。

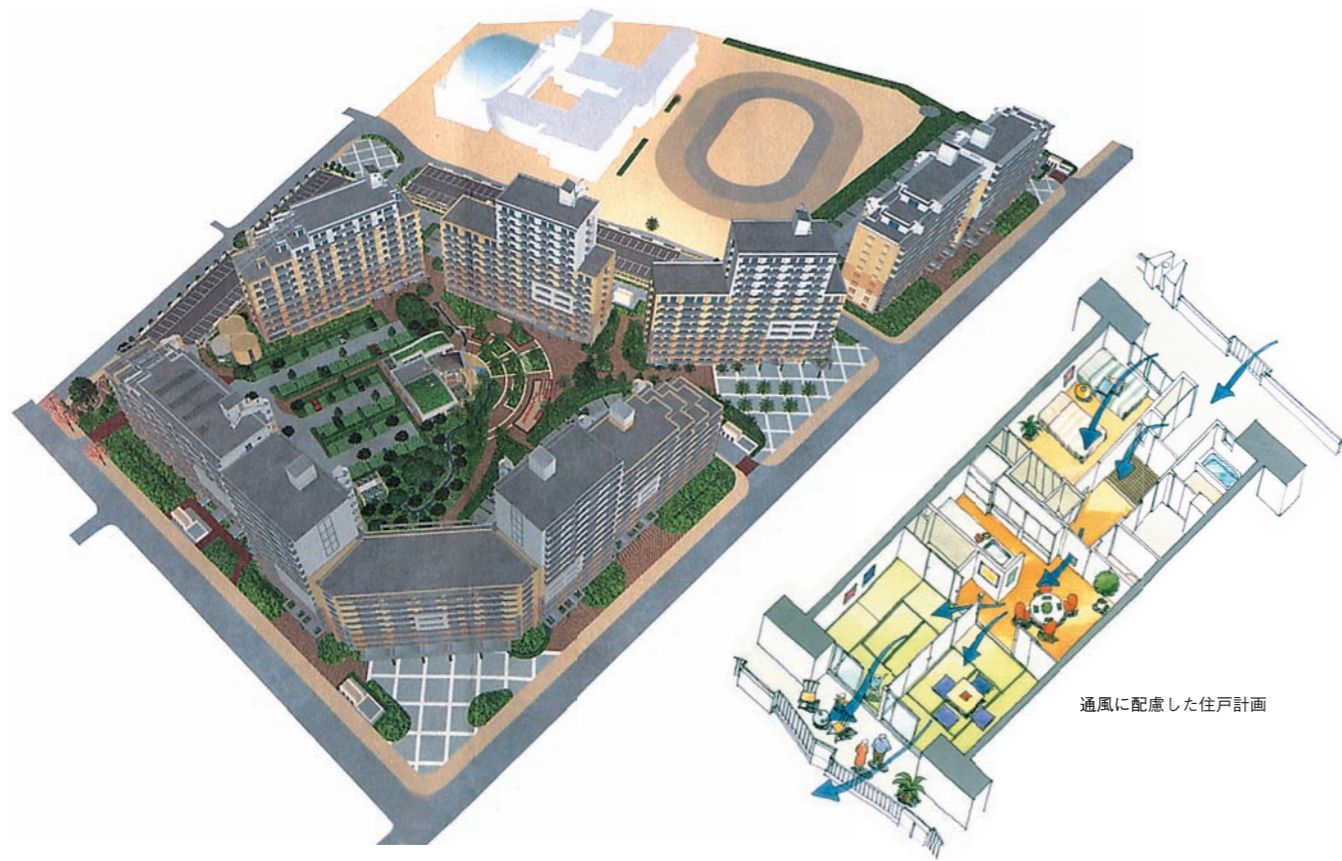
DATA

- 所在地: 兵庫県三田市けやき台、ゆりのき台 他
- 事業期間: 昭和48年10月～
- 地区面積: 598ha
- 計画人口: 約48,000人



風の道 アーベインビオ春日

福岡県春日市



雨水を有効利用したせせらぎ せせらぎから住棟を望む 内部建具の通風口 玄関小窓

アーベインビオ春日は、近くに弥生時代の遺跡も出土した歴史ある地域にあります。「地域に根ざした、人と自然にやさしい街づくり」をテーマとし、住戸から屋外空間まで、総合的な環境共生に取り組んでいます。住戸の玄関には小窓、室内の建具には通風口を設け、住戸内の風の道を確保したり、採光を考慮したバルコニーの形状としたりし、自然の力を活かせる住まいとなっています。また、雨水を利用したせせらぎや、野鳥や昆虫の生息を助ける豊かな森を設け、鳥や木、太陽光発電システムなどの説明板を配置して、学びながら自然と仲良くなれる環境が提供されています。

DATA

- 所在地: 福岡県春日市日出町3丁目
- 管理開始: 1997年4月
- 用途: 共同住宅 約719戸(予定)
- 構造: 鉄筋コンクリート造、10~14階建、6棟
- 敷地面積: 約31,000㎡



亜熱帯自然、環境との共生 那覇新都心

沖縄県那覇市

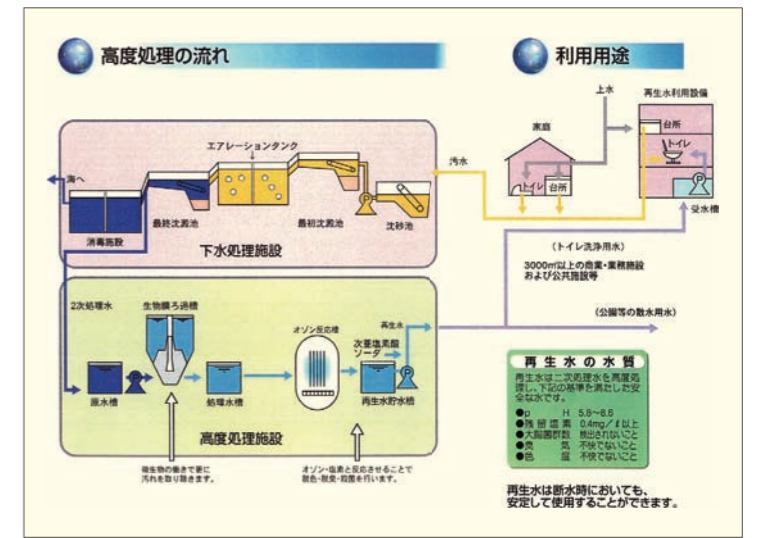
高校屋上に設置された太陽電池パネル



平成16年4月



上) 業務ビル屋上に設置された蓄熱方式空調システム
下) 公園内に移植された既存樹木



再生水供給の流れ

那覇新都心は、米軍住宅跡地開発のモデル事業として沖縄県及び那覇市を支える新たな都心の形成を目指し土地区画整理事業を推進しております。水資源については、地下へ浸透しやすい舗装等を行い地下水の涵養を図っているほか、沖縄県により公共施設や延床面積3,000㎡以上の商業・業務施設等に下水を高度処理した水(再生水)の供給を行っております。那覇市により整備されている総合公園の駐車場地下には雨水貯留槽が配置され、トイレ用水、散水用水として利用しています。また、公共・公益施設において、夜間電力を活用したエコアイスシステム、太陽光発電システムの導入、屋上緑化・壁面緑化等の取り組みも行っております。さらに、地区内の既存樹木(約200本)を公園、道路、公共施設用地等に移植し活用しております。

DATA

- 所在地: 沖縄県那覇市おもろまち 他
- 事業期間: 平成元年度~
- 地区面積: 約214ha
- 計画人口: 約21,000人